

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2026年 2月 10日		～ 2026年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	2026年 2月 10日		～ 2026年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○訪問先施設評価実施期間	2026年 2月 10日		～ 2026年 3月 10日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問支援員が、事業所での療育の様子も把握しているため、実際の療育場面で取り入れていることなども交え、助言することができる。	事業所で取り組んでいる支援のうち、有効だったものなど具体的に伝えるよう意識している。園での課題を事業所に持ち帰り、事業所で練習する機会を設けることができる。	園での様子、事業所での様子、家庭での様子を把握し、支援に生かせるよう今後も努めていく。
2	園との情報共有を丁寧に行っている。	事業所でお子さんの様子に変化があった際は、電話にて園との情報共有を丁寧に行うようにしている。	園との良好な関係を築きながら、支援に必要な情報の共有を今後も行っていくよう努めていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問日が少ないこと。	訪問支援員が少ないため、訪問日が限られてしまっている。	年間で計画的に実施できるよう、訪問園との日程調整を園の行事との兼ね合いなども考慮しながら行っていけるよう努めていく。
2	園に対する、保育所等訪問支援の説明が不十分なこと。	口頭での説明中心となってしまう、内容の説明が不十分であると感じている。	担任だけでなく、園の先生方が共有できるようなリーフレット等を作成し、それに沿って説明できるようにしていきたい。
3	保護者に対し、訪問の頻度についての説明が不十分なこと。	現在、可能な訪問頻度について、明確にお伝えすることができていない。	今後は、可能な範囲で訪問頻度の目安を計画に記載していく。